

給セザルガ如キ場合ハ曾テ其例ナシト云フ。
期末賞與、支給ヲ受クル者ハ期末前二箇月
以上、勤続者ニ限リ、支給額決定ノ方法ハ當
該期間ニ於テ各自ニ支拂ヒタル日給ノ総額
獎勵加給額ヲ加算セズ、ヲ基本トシ、之ニ一定
ノ率ヲ乘ジタルモ、ヲ普通賞與トシ、普通賞
與支給額ニ更ニ一定ノ率ヲ乘ジタルモ、ヲ
特別賞與トス。但シ特別賞與ハ特ニ營業成績
優良ナリシ年度ニ於テ、ニ支給セラルル。
右ノ乘率ハ役付職工、平職工各三級ニ區別セ
ラル。即チ役付職工ニ在リテハ職長(全職工數
ノ百分ノ三内外)ヲ最高トシ、組長(全職工數

百分ノ二内外)之ニ次ギ伍長(全職工數ノ百分
ノ七内外)更ニ之ニ次グ。又平職工ニ在リテハ
特上並ニ區分セラレ各其乘率ヲ異ニセリ。但
シ勤続年數ニ依リ等差ヲ設クルガ如キコト
ナシ。
支給額ハ年度ニ依リ異同アリ一定セザルモ、
最近ノ例ヲ擧グレバ普通賞與一人平均約十
圓ニシテ、特別賞與ハ普通賞與ヨリ幾分少額
ナリシト。以テ其大體ヲ知ルニ足ルベシ。
期末賞與ノ乘率ハ各事業所ニ於テ大體ノ協
定ヲナスモ、細目ニ就テハ各所ノ裁量ニ一任
セラレ、各所營業費ヲ以テ之ヲ負擔ス。